

【記入例】
青字部分がご記入いただく箇所です

様式第7-2号（第13条関係）

公益財団法人
理

助成事業完了日（技術検討が完了し、且つ契約、取得、
実施、支払いが全て完了したと認められる日）翌日から
15日以内の日付にしてください。

（例）助成事業完了予定日：令和8年2月28日

助成事業完了日：令和8年2月28日

報告書提出期限：令和8年3月15日

令和7年2月15日

1-0022

都千代田区神田練堀町3-3

大東ビル4階

名 称 ○○株式会社

代 表 者 名 代表取締役 公社 太郎

電 話 番 号 03-3251-7894

実印※

- ・申請書（又は変更届）に記載した内容を記入してください
- ・「代表取締役」等についても正確に記入してください

印鑑登録済の代表者印（実印）

※変更があった場合は変更後の実印

※電子申請の場合は押印不要

令和6年度中小企業技術活性化助成事業

令和7年2月25日付6東中企助第2646号をもって交付決定の通知があった助成事業が完了したので、下記のとおり報告いたします。

記

1 事業区分 製品開発着手支援助成事業

交付決定通知書に記載された
内容を記入してください

2 申請テーマ [○○の研究開発に係る△△の検討]

3 助成事業実施期間 令和7年3月1日 ～ 令和8年2月10日

4 助成事業実施内容及び成果・・・・・・・・・・

助成事業完了日（技術検討が完了し、且つ契約、取得、
実施、支払いが全て完了したと認められる日）を記入し
てください。

5 助成対象資産表・・・・・・・・・・

6 提出書類 ア 助成事業の実施に係る見積書、契約書、注文書・注文請書
納品書、請求書、振込控、領収書等

イ 助成事業の成果を明らかにするための

①写真 ②図面 ③資料 ④登録証・付随書 ④報告書 等

※ 電子申請の場合は押印不要

様式 7-2 号（付表 1）

助 成 事 業 実 施 内 容 及 び 成 果

1 助成事業実施内容及び成果

※申請書記載の達成目標の達成度について記載してください。

概ね予定通りの結果が
得られた場合の例

(1) 事業内容

〇〇の検討にあたり、課題であった△△について調査し試作を重ねたことで方向性が確認できた。××装置を試験した結果は、申請時に想定された程度を上回ることができた。

課題をどのように検討して完了したのかを簡潔に記入してください。

(2) 事業の経過（日程を含む）

- ・申請時点のスケジュールから約 1 ヶ月遅れて終了した。原因は、□□□の設計変更が生じ、委託先との調整に時間を要したためである。
- ・当初課題として挙げた××部分については、やはり設計図の修正が必要となり、修正図面を作成した。☆☆研究センターのアドバイスに基づき、××部分の□□を**したことにより、耐久温度も強度も目標以上の成果となった。

本助成事業全体の経過を簡潔に記入してください。

申請書の変更があった点についても記入してください（変更承認申請・届出を行ったものは除く）。

(3) 事業の成果

- ・検討項目「仕様設計検討」については、様々な材質を検討した結果、最も採算性の高い〇〇を使用することとした。報告物の試験報告書にて材質毎の評価表を記載した。
- ・検討項目「データ解析」については、想定される様々なパターンを解析し、計算結果が収束されることを確認した。報告物である計算結果報告書に解析の結果を記載した。

申請書の技術検討項目に対する検討結果状況を記入してください。

また、検討結果の根拠となる成果物についても記入してください。

(4) 成果に対する今後の展開及び見通し

今回の検討により開発の方向性が明確になった。来年度の本格開発に向けて、山積している課題を一つずつ解決していきたい。

1 助成事業実施内容及び成果

※申請書記載の達成目標の達成度について記載してください。

概ね予定通りの結果が
得られなかった場合の例

(1) 事業内容

〇〇の検討にあたり、課題であった△△について調査し試作を重ねたことで方向性が確認できた。××装置を試験した結果は、申請時に想定された程度を大幅に下回るものとなった。

(2) 事業の経過（日程を含む）

- ・申請時点のスケジュールから約3か月遅れて終了した。原因は、□□□の強度不足が判明し、委託先との調整に時間を要したためである。
- ・当初課題として挙げた××部分については、強度不足が判明した。その後、☆☆研究センターのアドバイスに基づき、××部分の□□を**に変更したものの、当初予定した強度には至らなかった。

(3) 事業の成果

- ・検討項目「仕様設計検討」については、様々な材質を検討したが、当初予定した強度には至らなかった。報告物の試験報告書にて材質毎の評価表を記載した。
- ・検討項目「データ解析」については、想定される様々なパターンを解析し、計算結果が収束されることを確認した。報告物である計算結果報告書に解析の結果を記載した。

(4) 成果に対する今後の展開及び見通し

今回の検討により本技術を用いての開発は断念することとした。今後は、代替技術▲▲を用いての開発が可能か再検討していく予定である。

助成対象資産表（成果物・試作品及び 50 万円以上購入物一覧表）

成 果 物 等 名 称	個 数	取得価格	ステッカー 整理番号	備 考
*****	1	200 万円	1	
〇〇〇〇調査報告書（成果物）	1	40 万円	—	
		万円		
		万円		
		万円		
		万円		
		万円		

- ・成果物（金額に関わらず必須）及び 1 件あたりの単価が税抜 50 万円以上の購入品を記入してください。
- ・1 件あたりの単価が税抜 50 万円以上の購入品及び委託・外注による成果物（試験・評価レポート等は除く）には公社配布のステッカーを貼った写真を添付してください。
- ・「ステッカー整理番号」は公社配布のステッカーに記入した番号と合わせてください。